

明科いいまち通信

いいまち通信は、
WEBでもご覧
いただけます。▶



<http://akashina.net/localinfo/newslist>

No. **90**

安曇野市明科中川手6824番地1

明科支所：☎62-3001 / 明科公民館：☎62-4605

令和7年7月17日 発行



今月の明科の団体紹介



今回は

AKASHINA 山族団

です

AKASHINA 山族団
堀内 ゆかり

はじめまして、AKASHINA 山族団と申します。「山賊団？山賊？！違うな三族……族？！一体どういう集まりなんだ？」とお思いの方ばかりでしょう。まずは、山賊団の始まりからお話します。

2024年10月26日（土）、27日（日）の2日間開催された「安曇野APPLE HALLOWEEN」を皆さん覚えていらっしゃるでしょうか？あの大盛況の2日間を。明科駅を中心とした3エリアを結んで行われたビッグイベントです。廃線敷エリアでは、地元の子供たちが制作したかぼちゃの「ジャックオーランタン」が並び、マルシェやワークショップがありました。龍門渕エリアでは、安曇野近隣のワイナリーが集結し「ワインマルシェ」を開催。



そして明科駅エリアでは、27日（日）のみでしたが歩行者天国ができ、仮装コンテストやキッズダンス披露・グルメ・クラフト・アウトドア等の出店がありました。山族団はこの明科駅エリアに突如出現した4つめの隠れエリアでマルシェを企画開催する為に発足した団です。その隠れエリアとは？仮装をする方の為に用意された旧岩渕建設さんを使用した更衣室です。（今は明科カヌークラブさんのクラブハウスになっているそうです。）「どうして更衣室の場所でマルシェを？！メインは明科駅前でしょ？」という疑問が……。こちらが団の始まりと関係するのでお話しさせていただきます。あれはAPPLE HALLOWEEN開催の1か月半程前、地域おこし協力隊の松尾さんから「咖喱ヤドリギさんに更衣室の場所でカレー販売をして欲しいな」との連絡が。（申し上げておりませんでした。私はカレー屋さんをしています。）詳しく聞いてみれば、メイン会場から離れている住宅地、人がどれくらい流れるのかもわからない場所。そして私は1人では心細い。と言う事で更衣室に使われる旧岩渕建設さんの建てモノも素敵なので「ミニミニマルシェ」しちゃいましょう！と盛り上がり決定。かねてからこのような活動に興味があり、志が同じ友人達と集まりマルシェの企画は段々と形になっていきました。すると、表立った団体名があった方が動きやすくなってきたため「山族団」の名前がつけました。山族の山は、明科の山々の山。山族の族は家族の族。明科に住む家族が皆で楽しめる企画をしたいという想いが入った名前です。そしてやってやるぞ！という気合いも感じられるでしょう？（笑）初めての事だらけでクリアしなくてはならない問題山積でしたが無事ミニミニマルシェを開催することができました。当日足を運んでくださった皆様、出店してくれた方々、細かいデザインをしてくれた方々、関わってくれた1人1人が山族団です。1度きりのマルシェのために集まったメンバーですが、1度きりではもったいないので、その後も明科自然体験交流センターせせらぎでフリーマーケットを主体としたマルシェを開催したりと今も活動中です。情報発信は主にインスタと明科のお店や施設でのチラシ掲示です。山族団の名前を見かけたら是非気軽に遊びに来てください。明科で1日遊び倒せる、そんな楽しいことを考えていく所存です。どうぞみなさんよろしくお祈りします。

P.S これを読んでくださったあなたももう AKASHINA 山族団入団したも同然ですね。



—安曇野市文化財保存活用地域計画について—



安曇野市教育委員会では、現在、令和8年度からスタートする文化財保存活用地域計画（以下、地域計画という。）の策定を進めています。

地域計画を策定する背景には、全国的に、高齢化社会、人口減少（人口流出含む）が進むことにより、文化財の所有者・管理者・後継者が徐々にいなくなってしまうということが懸念されているからです。

実際に安曇野市内でも、地区で管理してきた道祖神の上屋が壊れてしまったので修理したいが、戸数が減ってきてしまい費用が捻出できない。地区の伝統的な祭り・行事が、担い手不足で催行が困難となってきた等の課題がでてきています。

それらを解決する対策として、国は、これまでの文化財は保護保存するものという考えから、未指定も含む地区の文化財を、上手に地域づくりや、観光振興に活用しながら、地域社会全体で文化財の保存継承に取り組む方向に転換するよう指導があり、安曇野市でも地域計画の策定を進めているというわけです。

しかし、文化財を積極的に観光資源として活用していくと、文化財の破損や損傷、盗難が多くなるのではないかと、無形民俗文化財などのお祭り・行事は、観光客が好むように、本来の姿が変容してしまうのではないかと心配する人もいます。

安曇野市は、こうした課題も考慮しつつ、地域計画の中で、市が目指す文化財の将来的なビジョン、50年後、100年後、子どもたちに何を残してあげたいかについて、10年スパンで、保存と活用に関する具体的な目標・取り組みを立てています。

そもそも文化財を保護する意義とは？

文化財は、我々の生活との関わりの中で、地域社会に生きる人々の心の拠り所を与え、それを媒介として解体されつつある地域共同体を再生することで地域社会の核となり、それが地域で発生する諸問題の解決や豊かな地域づくりの上で大きな役割を果たすことで、人々のアイデンティティが形成されること。（歴史学者 馬場憲一の論文から引用）とあります。

具体的な2つの事例を当てはめてみます。

① 明科地域の何か所かで行われているオフネ祭りの効果・・・お祭り日には、遠くにいる子どもや親戚が集まり、ご馳走を食べて神社にお参りする。オフネ祭りの運営に参加する人たち、お囃子を披露する子どもたちは、1か月以上前から、地区の長老、先輩から様々なことを学びながら、みんなで協力してオフネの組み立て、船上の人形飾り物などの製作、お囃子の練習などを経て、当日を迎える。祭りの日は、お囃子に合わせて曳行する今年のオフネの出来栄を地元の皆さんに見てもらおう。



② 明治30年代に伝わり昭和の終りに途絶えてしまった、押野正八幡宮の獅子舞の復活を目指した「押野獅子舞伝承事業」の効果・・・地元の保存会と福祉推進委員会が中心となり、映像資料作成、後継者育成のための手引書作成、祭囃子の音符による譜面化などを行う。事業終了報告書には、目的としていた事業項目以外に、次のとおり様々な効果があったと記されている。



・地区の生い立ちを調査する中で、旧八坂神社跡の整備等に発展するなど、郷土愛を深める方向へ進み、併せてこれら活動の中心になったのが地域の高齢者であったことで高齢者福祉の立場でも有意義なことにつながった。

・福祉推進委員会が中心となり高齢者の歌の集いが発足したが、その後、小・中・高校の応援もあり、地域ぐるみの活動に発展した。など

こうした一連の伝統行事の保存伝承事業を見てみると、世代間交流を促し地域の絆を深めることや、地域における自分の役割の明確化と生き甲斐づくりといったことなど、今、希薄になりつつあるといわれる地域共同体を維持していくための大切な要素が含まれていることがわかります。また、子どもたちの地域の一員としての自覚の芽生え、郷土愛（地域の誇り、愛着）の醸成などにもつながってくると思います。

社会環境が大きく変わってきた今、地域課題を分析し、その解決の一助として文化財を活用し、自分のふるさとに誇りや愛着をもち豊かに暮らせるまちを目指したいものです。

イベント等の詳細については、
明科公民館(☎62-4605)までお問い合わせください。

いいまちつくりukai!!
8月地域イベント **明科うまいもん市**

地元の農産物・銘品の販売、家族での遊び、ものづくり体験、ピアノの伴奏にあわせて童謡・唱歌を歌うサロン(10時30分～)を開催します。

日時：8月30日(土) 午前9時～午後1時
場所：明科公民館 講堂・駐車場
参加費：無料
申込み：不要



夏休み将棋教室



日時：8月4日(月)、5日(火)
午前10時～午後4時
場所：明科公民館 講義室
講師：安曇野市囲碁・将棋実行委員会委員
参加料：無料
申込み：7月28日(月)、29日(火)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)

夏休み親子料理教室

～スイーツをつくろう～

日時：8月6日(水) 午前10時～正午
場所：明科公民館 調理実習室
講師：安井 邦夫(明科公民館長)
参加料：1組 1,000円
定員：5組(先着順)
申込み：7月28日(月)、29日(火)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



明科ヒューマン講演会

心のユニバーサルデザインのすすめ

日時：8月7日(木) 午前10時～11時30分
場所：明科公民館 講堂
講師：廣瀬 豊さん
(松本大学准教授)
参加費：無料
申込み：不要



8月いいまちサロン例会

夏休みお楽しみ会

日時：8月8日(金) 午前10時～午後3時
場所：明科公民館 講堂他
参加費：500円(昼食代)
申込み：7月30日(水)、31日(木)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



夏休みカヌー教室

日時：8月15日(金)
午前10時～正午
場所：龍門淵公園
講師：大沢 勇治さん
(安曇水群代表)
参加料：無料
申込み：8月7日(木)、8日(金)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



スマホ相談室 第3回

日時：8月21日(木)
午前10時～正午
場所：明科公民館 講堂
講師：公民館職員
参加費：無料
定員：15人(先着順)
持ち物：お使いのスマホ
申込み：8月12日(火)、13日(水)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



カヌー体験教室

日時：9月6日(土)
午前9時～正午
場所：龍門淵公園
講師：大沢 勇治さん(安曇水群代表)
参加料：無料
申込み：9月1日(月)、2日(火)に明科公民館に電話でお申し込みください。TEL:0263-62-4605(午前9時～午後5時)



9月いいまちサロン例会

平和への願いをこめて

平和維持のために何をすべきか考えます。

日時：9月20日(土) 午後1時30分～3時30分
場所：明科公民館 会議室
講師：幅 国洋さん
(戦争遺跡保存全国ネットワーク事務局長)
参加費：300円(資料・お茶代)
申込み：不要



第41回 安曇野明科 あやめまつりの感想

あやめまつりの準備や当日の運営にご協力いただいた学生さんから感想をいただきました！

明科中学校 3年 佐々木 千紗さん

あやめまつりに出店してみて、最初は不安でとても緊張していたけど明科高校の皆さんが優しく接してくれたので、笑顔でお客様に商品を売ることができ、また参加したいと思いました。



明科高等学校 3年 笹田 和花さん

今回、あやめまつりに参加させていただいて準備や運営を通して地域の方々と直接関わることができ、とても良い経験になりました。特に、わたあめ作りではさまざまな子どもたちとふれ合い、一緒に楽しめたことが印象に残っています。また、軽音楽部としてステージに立たせていただき、多くの人の前で演奏できたことに感謝しています。ビンゴ大会では司会を担当し、盛り上げることができて嬉しかったです。地域とのつながりを実感し、今後もこうした活動に積極的に関わっていきたいと思いました。

地域おこし協力隊 瀬戸さん・山崎さんの

明科インタビュー

ゲスト：明科農業塾
塾長 佐藤 守雄さん



今回は、明科農業塾で新しく塾長になられた佐藤守雄さんとの対談です。

瀬戸：こんにちは、いつも農業塾でお世話になっています！

佐藤：こんにちは。今日はどんな話すればいいかや？

瀬戸：ありがとうございます、佐藤さんの事や農業塾の事、明科についてお聞かせください。

佐藤さんのご出身はどちらですか？

佐藤：私はね、筑北村出身だね。高校生の頃までは筑北にいたけど、大学・就職したころは松本にいたよ。それで会社に勤めて何年かした後、家を買う時に明科へ越してきたね。

瀬戸：そうだったんですね。会社に勤めながら明科で農業もされていたんですか？

佐藤：いやそれがね、幼い頃に田んぼの手伝いをしたことはあったけれども、定年退職をきっかけに農業を始めてせ。

瀬戸：そうなんですか！長年農業をされているのかと思いました。何か農業をはじめのきっかけはあったんですか？

佐藤：定年退職したら心機一転新しい事をしてみたいくてね。農業塾に入って農業を始めて、今ではハウスを借りたり、わさびをやってみたり色々広げているんだけど、ここにきて塾長を任されたり、地区の役やなんやらと忙しくなりすぎててんてこ舞いだよ。

瀬戸：素晴らしいですね、なかなか新しいことを始めるのってパワーがいりますし、積極的に動かれている佐藤さんだからこそ農業塾の塾長を引き継がれたんですね！

ところで、明科はどんな場所でどんな風になったらいいと思いますか？

佐藤：明科はニジマスがあったり、羊を飼っている人がいたり、もちろん農地があったり、そういう場所だね。過疎化になったのは明科駅より北の地域の人が減ってしまったからだと思うけど、羊を飼うとかそういった新しい取り組みが大事だし、やってみるって事が大事だね。

瀬戸：なるほど確かに明科の地域資源は山・川・里が揃った場所、という事ですよ。百聞は一見に如かず！僕も色々トライしてみたいと思います！今日はお話ありがとうございました！

編集後記

・今年はいして雨も降らず暑い夏が長く続きそうです。暑さ対策としてかき氷器で宇治金時を作って毎日食べようと思います。糖尿病が悪化するかもしれません。(や)

・先日のあやめまつりでは、たっくさんの方にご来場いただきましてありがとうございました。今回初めてお祭りの運営側を体験して、大変さが分かりました。子どもの頃に参加していた地区行事なども運営の方は大変だったんだなと気づいたので、改めて感謝の気持ちを伝えたいです。(み)

いいまち通信の掲載記事を募集します

明科いいまち通信へ掲載する記事を募集いたします。なにか発信したい内容などがありましたら、是非ご投稿ください。

募集内容 住民のみなさまからの記事・文章・写真・俳句・ご意見など
投稿要項 投稿する際は必ず氏名・住所・連絡先を記載してください。

・記事内容は、明科いいまち通信編集会議で検討いたします。

投稿方法 ①明科支所(明科中川手6824-1)へ持ち込む または
②Eメールで送る ⇒ akashina-shisho@city.azumino.nagano.jp

お問合せ 明科いいまち通信編集担当 (TEL:62-3001 FAX:62-4747)